

人気インフルエンサーに学ぶ上手なうちの子発信

文：尾形聡子

SNS を通じて誰でもいつでも簡単に世界中に情報発信ができるようになった昨今。とりわけ「インフルエンサー」と呼ばれる人たちの投稿による世の中への影響は計り知れないものとなっています。ペットの世界も例外ではなく、人気を博す飼い主による投稿は一般的な投稿とは桁違いの閲覧数がついています。

2019年7月20日に行われた第13回例会は「人気インフルエンサーに学ぶ上手なうちの子発信～SNSで見つけた、どうぶつと私の新しい生活スタイル」をテーマに、犬、猫、インコと暮らす人気インフルエンサーの飼い主の方々が登壇し、それぞれの SNS 発信のスタイルや一緒に暮らすペットとのかかわり方などについてのお話がありました。

例会開催にあたり、日本ペットサミット会長で東京大学獣医外科学教室教授の西村先生から例会の趣旨について簡単な説明がありました。

「今日は3人のインフルエンサーの方にいらしていただきました。坂井亮一さん、小浦場祥夫さん、津野田百華さん、みなさんがInstagramを使われています。そこからまずはInstagramを使わないといけないんだと学ばせていただきました。私も一応 SNS をやっちはいるのですが、なんとも…。皆さんからのお話を聞いて改善するポイントをつかめればと思っています。」

とはいえ SNS は利点ばかりではなく、一方で問題点もあると西村教授は言います。

「SNS が社会的問題にもなっているのは皆さんもよくご存知のことと思います。たとえばネット上での炎上だったり、ソーシャルハラスメントだったり、いいね欲しさの行為など挙げていくと多々ありますが、そのような点に対して今日お話しいただくインフルエンサーのみなさんはどのように気をつけていらっしゃるのかというところも教えていただければと思います。」